

平成 30 年 10 月 29 日

公益社団法人 全国都市清掃会議

専務理事 大熊 洋二 様

公益財団法人日本容器包装リサイクル協会

代表理事専務 小山 博敬



「リチウムイオン電池を含む電子機器」のプラスチック製容器包装分別収集物への 混入防止に向けたご協力をお願い

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は、当協会の再商品化業務にご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、プラスチック製容器包装分別収集物における禁忌品は、発火の恐れがある電池類やライター、怪我の恐れがあるカミソリや刃物類、感染の恐れがある注射針等があります。禁忌品の中でもプラスチックリサイクル事業者が最も困っているのが、発火事故に繋がる「リチウムイオン電池を含む電子機器」です。

以下の表のとおり、リサイクル工場におけるリチウムイオン電池等の電池が原因と思われる発火事故は年々増加しており、今年度は急増傾向にあります。リサイクル処理ラインが焼失する事故も発生しており、日本のプラスチックのリサイクルに大きな影響が出ております。

実情をご理解いただき、何卒、下記のとおりご対応くださいますよう、ご検討のほどよろしくお願い申し上げます。

敬具

記

【全国のプラスチックリサイクル事業者での発火事故件数の推移】 単位：件

年度	平成 25	平成 26	平成 27	平成 28	平成 29	平成 30
事故件数	32	41	42	49	56	50

※平成 30 年度分は、平成 30 年 8 月末までの集計。

【お願い事項】

(1) 全国都市清掃会議様の会員市町村向け啓發文書発信のお願い

- ① 「リチウムイオン電池を含む電子機器」のプラスチック製容器包装分別収集物への混入防止
- ② 平成 30 年 10 月 1 日より一般社団法人 JBRC が開始した、一般廃棄物の小型充電式電池の回収に関する回収拠点登録のお願い（別添資料ご参照）

(2) 国、関係者等への働きかけ

当協会から各関係者に働きかけを行いますが、全国都市清掃会議様からも環境省、経済産業省、製造者団体、その他関係者に向けた働きかけを行って頂きたい、ご検討の程よろしくお願いたします。

以上

本件担当： 公益財団法人日本容器包装リサイクル協会 プラスチック容器事業部
雨谷、清水、高崎 03-5532-8607、8605、8603